

保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金の 評価指標における得点結果（令和6年度交付分）

1 制度の概要

保険者機能の強化に向け、高齢者の自立支援・重度化防止等に関する市町村の取組等を推進するため、市町村及び都道府県の様々な取組の達成状況に関する指標を設定した上で交付するものとして、平成30年度に保険者機能強化推進交付金が創設された。

さらに、令和2年度に、公的保険制度における介護予防の位置づけを高めるため、保険者機能強化推進交付金に加え、介護予防、健康づくり等に資する取組を重点的に評価して交付される介護保険保険者努力支援交付金が新設された。

令和6年度は活動・中間成果に関する評価指標の充実を図りつつ、成果との関連が低い評価指標の縮減を行うなど前年度評価指標から大幅な見直しが行われた。

※令和6年度の国の予算額：300億円

【内訳】

保険者機能強化推進交付金：100億円

介護保険保険者努力支援交付金：200億円

2 得点結果（令和6年度交付分）

	保険者機能強化推進交付金			介護保険保険者努力支援交付金			
	満点	全国平均	北九州市	満点	全国平均	北九州市	
合計	400	205.6	259	合計	400	216.7	273
目標Ⅰ 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする	100	56.2	40	目標Ⅰ 介護予防/日常生活支援を推進する	100	51.5	64
目標Ⅱ 公平・公正な給付を行う体制の構築する	100	59.8	100	目標Ⅱ 認知症総合支援を推進する	100	54.5	70
目標Ⅲ サービス提供基盤の整備を推進する	100	41.0	59	目標Ⅲ 在宅医療・在宅介護連携を構築する	100	62.1	79
目標Ⅳ 高齢者の状況に応じた自立した日常生活を営む	100	48.6	60	目標Ⅳ 高齢者の状況に応じた自立した日常生活を営む	100	48.6	60